

みずほCustomer Desk Report 2017/07/14 号(As of 2017/07/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.27 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.33	1.1418	129.38	0.9650	1.2893	0.7679
SYD-NY High	113.53	1.1456	129.66	0.9686	1.2955	0.7740
SYD-NY Low	112.86	1.1370	128.50	0.9616	1.2879	0.7675
NY 5:00 PM	113.30	1.1397	129.12	0.9672	1.2942	0.7728
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.535/7.935		△25RR	1.075	Yen Call Over	

NY DOW	21,553.09	20.95	債券市場	日本2年債	-0.1060	-
NASDAQ	6,274.44	13.27		日本10年債	0.0840	▲0.5bp
S&P	2,447.83	4.58		米国2年債	1.3633	2.0bp
日経平均	20,099.81	1.43		米国5年債	1.8908	1.7bp
TOPIX	1,619.11	▲0.23		米国10年債	2.3444	2.7bp
シカゴ日経先物	20,140.00	▲25.00	為替市況	独10年債	0.6030	2.4bp
ロンドンFT	7,413.44	▲3.49		英10年債	1.3020	4.1bp
DAX	12,641.33	14.75		豪10年債	2.6870	▲3.3bp
ハンセン指数	26,346.17	302.53		USD/CNH	6.7819	▲0.0046
上海総合	3,218.16	20.62		ドルインデックス	95.73	▲0.03
USDJPY 3M Vol	8.29	▲0.20%	商品市況	CRB指数	174.349	0.47
USDJPY 6M Vol	8.70	▲0.17%		NY金	1,217.30	▲1.80
EURJPY 3M Vol	9.08	▲0.08%		WTI	46.08	0.59
EURJPY 6M Vol	9.51	▲0.01%		Dubai Spot	46.00	▲0.85

東京	東京時間のドル円は113.33レベルでオープン。仲値にかけて一時高値113.53を付ける場面が見られたものの、その後急速に上げ幅を失い113.20近辺まで押し戻される展開。発表された中国6月貿易収支は427億8,000万ドルの黒字(予想:426億ドルの黒字)とほぼ予想通りの数字にマーケットの反応は限定的となったものの、全般的なドル売りの流れが続き一段安の展開となった。一時、前日安値(112.92)を下抜けて112.86を付ける場面が見られたものの、112円台後半では押し目買い意欲も相応にあったと思われ、東京時間引けにかけては113円近辺で揉み合い推移が続いた。結局、112.97で海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112.97レベルでオープン。複数の関係筋の話として、日銀が17年度物価見通しを1%前後へ引き下げ、18年度も引き下げる可能性が報道されると、日銀の出口戦略観測が後退し円が売られる展開。ドル円は、113.19まで上昇し、113.17レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1449レベルでオープン。特段の材料無い中で利益確定を目的としたユーロ売り・ドル買いが優勢となり、1.1370まで下落した後、1.1411レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2919レベルでオープン。前日はブロードベント英中銀副総裁が「まだ利上げの準備はできていない」と述べたことでポンドが売られたが、この日はマカフィー英中銀金融政策委員が「利上げを支持する」と発言。同氏が英紙のインタビューで失業率が42年ぶりの低水準にあること等を理由に想定よりも早い量的緩和の解除を検討すべきとの見解を示した。英中銀の出口戦略観測が浮上してポンドは1.2951まで買い戻され、1.2937レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.17レベルでオープン。朝方発表された米6月PPIが市場予想を上回ったことから、ドル円は113.48まで上昇。しかし前日に続き行われたイエレンFRB議長の議会証言は特段目新しい発言は無く、海外時間高値113.53が意識されて積極的に上値を追う展開とはならなかった。午後に行われたブレイトドFRB理事の講演は従前からの見方を繰り返すに留まったが、カプラン・ダラス連銀総裁(2017年投票権あり)が「2%インフレ達成に向けて更なる証拠がほしい」とのハ派な発言をしたこともあり、ドル円は113.19まで下落した。その後、米株が続伸する中でドル円は113.30まで値を戻しクロスした。一方、ユーロドルは1.1411レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇と共にドル買いの流れが強まりユーロドルは1.1382まで下落。しかし、「ドラギECB総裁、8月にジャクソンホール出席へ」との報道が伝わると、3年ぶりの講演で金融緩和縮小に関する発言が期待できるのではとの見方が広がり、ユーロドルは1.1406まで値を戻して1.1397レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月13日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	-	貿易収支	6月 \$42.80B	\$42.60B
	15:00	CPI-確報(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	21:30	PPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/2.0%	0.0%/1.9%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 247K	245K
	23:00	イエレンFRB議長 上院議会証言	-	-
7月14日	0:30	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	2:00	ブレイトドFRB理事 講演	-	-

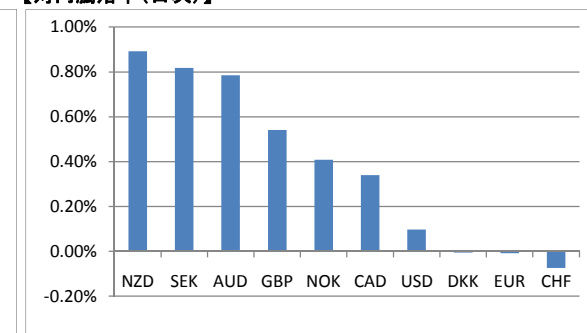
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月14日	13:30	鉱工業生産・確報(前月比/前年比)	5月 -/-	-3.3%/6.8%
	21:30	CPI(前月比/前年比)	6月 0.1%/1.7%	-0.1%/1.9%
	21:30	CPIコア(前月比/前年比)	6月 0.2%/1.7%	0.1%/1.7%
	21:30	小売売上高・速報(前月比)	6月 0.1%	-0.3%
	22:15	鉱工業生産(前月比)	6月 0.3%	0.0%
	22:30	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	ミシガン大学消費者信頼感指数・速報	7月 95.0	95.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.90-113.90	1.1370-1.1470	128.80-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は小幅に上昇。独債利回りや米債利回りが上昇したことで、クロス円が底堅推移を見せた。また、イエレンFRB議長の上院議会証言では真新しい材料がなく、相場への反応は限定的となった。本日は実質五・十日に当たることに加え、東京市場は連休を控えることもあり、実需のドル買いから底堅い展開を予想する。海外市場では米国の消費者物価指数や小売売上高の発表を迎えることから、本指標の反応にも注意しておきたい。